



平成 20 年 1 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 11 月 30 日

上場会社名 株式会社サガミチェーン 上場取引所 東証・名証第一部
 コード番号 9900 URL <http://www.sagami.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞鍋 洋治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統轄担当 (氏名) 畑 和夫 TEL (052) 771-2126

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 1 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 1 月 21 日 ~ 平成 19 年 10 月 20 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年1月期第3四半期	19,712	1.0	231	△9.6	281	△7.3	△126	—
19年1月期第3四半期	19,518	△0.7	255	47.8	303	53.2	145	—
19年1月期	26,241	—	582	—	637	—	303	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年1月期第3四半期	△5.18	—
19年1月期第3四半期	5.98	5.98
19年1月期	12.43	12.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年1月期第3四半期	20,828	15,156	72.7	621.17
19年1月期第3四半期	21,389	15,748	73.6	645.19
19年1月期	21,541	15,926	73.9	652.30

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年1月期第3四半期	460	△343	△504	4,191
19年1月期第3四半期	839	△414	△591	4,381
19年1月期	1,382	△726	△627	4,578

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年1月期	6.50	8.50	15.00
20年1月期	6.50		15.00
20年1月期(予想)		8.50	

3. 平成20年1月期の連結業績予想(平成19年1月21日～平成20年1月20日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	26,450	0.8	675	15.8	730	14.5	0	—	0.00	

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要因により、予想数値とは異なる可能性があります。

上記業績予想に関する事項は、添付書類の3ページをご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰や米国発の金融問題による市場の混乱等懸念材料はあったものの、堅調な民間設備投資に支えられ、景気は底堅く回復基調で推移いたしました。

外食産業におきましては、ファーストフード等一部回復の見られる業態があるものの、消費税増税懸念や年金問題等将来への不安による個人消費の伸び悩み等により、依然として予断の許さない経営環境にありました。

このような環境のもと、主力の和食麺類部門では、引き続き、ローコスト効率経営を進めるほか、「初夏のファミリークーポン」、「夏の味覚祭り」、「秋のファミリークーポン」等の全店販売促進企画および「素材厳選 あなご料理」、「素材厳選 国産うなぎ」、「松茸づくし」等の料理フェアを実施し、好評を得ました。また、3月から4月にかけて、「春のトラベルプレゼントキャンペーン」を実施し、多数の応募をいただきました。

既存店売上高は前期比0.7%増、既存店客数は前期比0.3%増と堅調に推移いたしました。なお、店舗の閉鎖は1店舗（浜松天王店）及び建て替えに伴う閉鎖1店舗（知立店、12月中旬に開店予定）の合計2店舗であります。

どんどん庵部門では、全店販売促進企画（どんどん庵祭り）を3回実施し、新規出店を2店舗（直営1店舗 F C 1店舗）、建て替えに伴う閉鎖1店舗（守山店、11月に開店予定）、直営店舗からF C店舗への変更を4店舗、F C店舗から直営店舗への変更を1店舗行いました。

その他の部門では、焼肉のじゅうはち家1店舗（羽島店）、あんかけスパゲティのDONDONあん1店舗（岡崎店）をそれぞれ閉鎖いたしました。

なお、新規事業として、ベーカリーショップ事業を立ち上げ、「石窯パン工房 Bon Pana（ボン パナ）」を1店舗、岐阜県羽島市に開店いたしました。

また、役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給等による特別損失607百万円を計上しております。

この結果、当第3四半期の連結業績は、売上高19,712百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益231百万円（前年同期比9.6%減）、経常利益281百万円（前年同期比7.3%減）、四半期純損失126百万円（前年同期は145百万円の四半期純利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（四半期連結貸借対照表）

当第3四半期末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は712百万円減少して20,828百万円となり、純資産は769百万円減少して15,156百万円となりました。

資産の減少要因は現金及び預金385百万円の減少及び有形固定資産134百万円の減少によるものであります。また、純資産の減少要因は主に利益剰余金492百万円の減少によるものであります。

（連結キャッシュ・フロー）

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、期首残高と比べ、386百万円（8.5%）減少し、4,191百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、460百万円となりました。これは、主として法人税等の支払額212百万円があったものの、減価償却費409百万円及び賞与引当金増加額185百万円があったためであります。

投資活動による資金の減少は、343百万円となりました。これは、主として投資有価証券売却による収入426百万円があったものの、投資有価証券取得による支出554百万円及び有形固定資産の取得による支出454百万円があったためであります。

財務活動による資金の減少は、504百万円となりました。これは主として長期借入金の返済による支出272百万円及び配当金の支払額365百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成19年8月24日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当社及び国内連結子会社は、当中間連結会計期間より、法人税法の改正（(所得税法等の一部を改正する法律 平成19年3月30日法律第6号)及び(法人税法施行令の一部を改正する政令 平成19年3月30日政令第83号)）に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産の減価償却の方法については、改正後の法人税法の規定と同一の基準による方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

5. 要約連結財務諸表

(1) 要約連結貸借対照表

(単位 百万円)

期 別 科 目	前第3四半期末 (平成18年10月20日現在)		当第3四半期末 (平成19年10月20日現在)		増 減		前連結会計年度末 (平成19年1月20日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産								
1.現金及び預金	4,316		4,128		△188		4,513	
2.受取手形及び売掛金	63		64		0		78	
3.有価証券	159		209		50		159	
4.たな卸資産	232		230		△2		235	
5.その他	266		271		4		229	
6.貸倒引当金	△0		△0		0		△0	
流動資産合計	5,038	23.6	4,903	23.5	△135	△2.7	5,216	24.2
II 固定資産								
1.有形固定資産								
(1)建物及び構築物	4,116		3,921		△194		4,076	
(2)機械装置及び運搬具	360		385		24		346	
(3)土地	6,770		6,729		△40		6,756	
(4)その他	167		132		△34		123	
有形固定資産合計	11,414	53.3	11,169	53.7	△245	△2.1	11,303	52.5
2.無形固定資産	152	0.7	147	0.7	△5	△3.6	149	0.7
3.投資その他の資産								
(1)投資有価証券	1,494		1,404		△89		1,630	
(2)長期差入保証金	2,750		2,588		△161		2,704	
(3)その他	631		703		72		626	
(4)貸倒引当金	△91		△87		4		△89	
投資その他の資産合計	4,783	22.4	4,608	22.1	△175	△3.7	4,871	22.6
固定資産合計	16,350	76.4	15,925	76.5	△425	△2.6	16,324	75.8
資産合計	21,389	100.0	20,828	100.0	△560	△2.6	21,541	100.0

(単位 百万円)

期別 科目	前第3四半期末 (平成18年10月20日現在)		当第3四半期末 (平成19年10月20日現在)		増減		前連結会計年度末 (平成19年1月20日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)		%		%		%		%
I 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	651		658		7		758	
2. 短期借入金	130		100		△30		130	
3. 一年以内返済長期借入金	337		856		518		338	
4. 一年以内償還社債	16		16		—		16	
5. 未払金	1,210		1,324		114		1,233	
6. 未払法人税等	93		114		20		159	
7. 賞与引当金	236		250		13		64	
8. 役員賞与引当金	4		—		△4		—	
9. その他	395		272		△123		375	
流動負債合計	3,076	14.4	3,592	17.2	516	16.8	3,076	14.3
II 固定負債								
1. 社債	1,026		1,010		△16		1,026	
2. 長期借入金	1,257		605		△652		1,215	
3. 長期未払金	100		380		280		105	
4. 退職給付引当金	4		5		1		4	
5. その他	176		79		△97		187	
固定負債合計	2,564	12.0	2,080	10.0	△484	△18.9	2,539	11.8
負債合計	5,640	26.4	5,672	27.2	31	0.6	5,615	26.1
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金	6,303	29.5	6,303	30.3	—	—	6,303	29.3
2. 資本剰余金	7,255	33.9	7,256	34.8	0	0.0	7,256	33.7
3. 利益剰余金	2,487	11.6	2,152	10.3	△334	△13.5	2,645	12.3
4. 自己株式	△555	△2.6	△551	△2.6	4	0.9	△551	△2.6
株主資本合計	15,491	72.4	15,161	72.8	△329	△2.1	15,654	72.7
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金	239	1.1	△27	△0.1	△266	△111.3	252	1.2
2. 為替換算調整勘定	6	0.0	8	0.0	2	39.7	7	0.0
評価・換算差額等合計	246	1.1	△18	△0.1	△264	△107.5	260	1.2
III 少数株主持分	11	0.1	12	0.1	1	10.0	11	0.0
純資産合計	15,748	73.6	15,156	72.8	△592	△3.8	15,926	73.9
負債純資産合計	21,389	100.0	20,828	100.0	△560	△2.6	21,541	100.0

(2) 要約連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	前第3四半期 (自平成18年1月21日 至平成18年10月20日)		当第3四半期 (自平成19年1月21日 至平成19年10月20日)		増 減		前連結会計年度 (自平成18年1月21日 至平成19年1月20日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売 上 高	19,518	100.0	19,712	100.0	194	1.0	26,241	100.0
II 売 上 原 価	5,865	30.1	5,933	30.1	67	1.2	7,873	30.0
売上総利益	13,652	69.9	13,779	69.9	126	0.9	18,367	70.0
III 販売費及び一般管理費	13,396	68.6	13,548	68.7	151	1.1	17,784	67.8
営業利益	255	1.3	231	1.2	△24	△9.6	582	2.2
IV 営業外収益								
1. 受取利息	9		11		2		11	
2. 受取配当金	4		6		2		6	
3. 受取家賃	35		25		△9		44	
4. 保険金収入	5		13		8		7	
5. 消耗器具備品売却益	2		—		△2		3	
6. 持分法による投資利益	22		15		△7		21	
7. 雑収入	23		19		△4		29	
営業外収益合計	103	0.5	91	0.4	△11	△11.3	125	0.5
V 営業外費用								
1. 支払利息	19		22		3		25	
2. 支払家賃	31		15		△15		38	
3. 雑損失	4		3		△1		6	
営業外費用合計	55	0.2	41	0.2	△13	△25.0	70	0.3
経常利益	303	1.6	281	1.4	△22	△7.3	637	2.4
VI 特別利益								
1. 固定資産売却益	3		3		0		3	
2. 貸倒引当金戻入益	2		2		0		4	
3. 投資有価証券売却益	120		202		82		116	
4. 営業権譲渡益	4		8		4		4	
5. 賃貸契約解約益	4		—		△4		4	
6. 収用補償金	—		121		121		—	
7. その他の特別利益	4		—		△4		4	
特別利益合計	138	0.7	338	1.7	200	144.5	137	0.5
VII 特別損失								
1. 固定資産売却損	7		—		△7		7	
2. 固定資産除却損	61		73		12		81	
3. 減損損失	64		147		82		183	
4. 役員退職慰労金	5		383		378		5	
5. 店舗閉鎖損失	—		3		3		0	
6. 社葬費用	13		—		△13		13	
7. その他の特別損失	—		—		—		0	
特別損失合計	151	0.8	607	3.0	456	300.3	292	1.1
税金等調整前 四半期(当期)純利益	290	1.5	11	0.1	△278	△95.9	482	1.8
法人税、住民税及び事業税	145	0.7	137	0.7	△7	△5.5	171	0.6
法人税等調整額	—	—	—	—	—	—	8	0.0
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	△0	△0.0	0	0.0	1	—	△1	△0.0
四半期(当期)純利益又 は四半期純損失(△)	145	0.8	△126	△0.6	△272	—	303	1.2

(3) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	期 別	前第3四半期 (自 平成18年1月21日) (至 平成18年10月20日)	当第3四半期 (自 平成19年1月21日) (至 平成19年10月20日)	前連結会計年度 (自 平成18年1月21日) (至 平成19年1月20日)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		839	460	1,382
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 定期預金預入による支出		△116	△16	△117
2. 投資有価証券の取得による支出		△187	△554	△303
3. 投資有価証券売却による収入		191	426	187
4. 有形固定資産の取得による支出		△332	△454	△535
5. その他 (純額)		30	254	41
投資活動によるキャッシュ・フロー		△414	△343	△726
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期借入による収入		—	180	50
2. 長期借入金の返済による支出		△264	△272	△355
3. 社債の発行による収入		49	—	49
4. 配当金の支払額		△365	△365	△365
5. その他 (純額)		△10	△45	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー		△591	△504	△627
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		1	1	2
V 現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)		△165	△386	31
VI 現金及び現金同等物の期首残高		4,546	4,578	4,546
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		4,381	4,191	4,578